

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。  
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



相手にボールを打ち返す選手（シングルス）

## 牧之原市から世界のコートに羽ばたく

■ゴーセンカップ・スウィングビーチ牧之原国際レディースオープンテニストーナメント2025

国際テニス連盟公認「ゴーセンカップ・スウィングビーチ牧之原国際レディースオープンテニストーナメント2025」が10月26日から11月2日まで、静波リゾート・スウィングビーチで開催されました。

今年で32回目となるこの大会は、日本の女子選手が世界で活躍することを願って創設され、国内外のメジャー大会へ出場するための登竜門になっています。ダブルスは齋藤咲良・清水綾乃ペア、シングルスはダブルスに続いて齋藤選手が優勝しました。

## 災害発生前から母子に寄り添う

■災害時等の母子支援に関する協定の締結式

市と一般社団法人静岡県助産師会は10月10日、災害時等の母子支援に関する協定を締結しました。

これは、自然災害や大規模事故により母子の心身や財産に重大な被害が生じた場合などに、妊産婦含む母子に対する健康診査や健康相談、心身ケアなどの支援を確保できる体制を整えることが目的です。同会の伊藤和代会長は「母子やその家族に寄り添い、災害が来る前から過ぎた後のケアまでしっかりと対応させていただきたい」とあいさつしました。



協定を結ぶ県助産師会の伊藤会長(左から4番目)や助産師、杉本市長など



ステージで舞踊を披露する出演者

## 芸術の秋 まちの文化を披露

■第20回特別記念・牧之原市文化祭「芸能発表会」

第20回特別記念・牧之原市文化祭「芸能発表会」が10月5日、い〜らで開催されました。

市文化協会の会員により企画運営される発表会には、総勢50組の個人や団体が参加し、出演者は歌や舞踊、大正琴、吟詠など、日頃の練習の成果をステージで披露しました。

また、会場には限定120席のお茶席や相良華道連盟と相良水墨画会による作品展示の他、屋外では軽トラ市も開かれ、多くの来場者は芸術の秋を楽しんでいました。

## 秋を彩る「七変化」

■大鐘家庭園のスイフヨウが見頃

国指定重要文化財「大鐘家」(片浜区)の庭園内に咲くスイフヨウが9月中旬から10月中旬にかけて見頃を迎え、来場者を楽しませました。

この花は、朝は白、昼はピンク、夕方には赤に花の色が変化し、まるで酒に酔っていくような様子から、漢字で「酔芙蓉」と命名されました。

およそ1,000坪の庭園には、多くのスイフヨウが群生し、他にも一般的なピンク色の「芙蓉」や「アメリカン芙蓉」など約100本が開花し、今年も大鐘家を美しく彩りました。



朝方に見られる純白のスイフヨウ（八重咲き）

## 文化の秋 市民の力作が集結

■第20回特別記念・牧之原市文化祭

第20回特別記念・牧之原市文化祭が11月1日と2日、静波体育館などで開催されました。

同体育館には、市文化協会会員をはじめ、市内の幼稚園・保育園・認定こども園、小中学校・高校、市民などによる絵画や手工芸、書道、写真などの作品約800点や、市制施行20周年を記念して特別にパネルが展示され、それぞれの活動の成果が発表されました。また、「茶会・茶手揉み実演、試飲」や「将棋大会」「おはなし会」が行われ、市内外から集まった大勢の来場者でにぎわいました。



市制施行20周年記念の展示パネルを見る来場者



5万人目の来館者となった中村さん家族㊤

## 「ありがた山！」来館者5万人達成

■市史料館特別展来館5万人達成セレモニー

市史料館で開催中の田沼意次に関する特別展などへの来館者数が5万人を達成したことを記念し、10月12日に記念セレモニーを開催しました。

5万人目の来館者は中村潤さん家族(神奈川県)で、杉本市長から記念品が贈られました。

特別展をはじめ、同館では田沼意次・意知親子にちなんだ衣装や小道具、相良城の遺物などを展示しています。また、11月11日に一部展示替えをしましたので、来年1月12日の特別展の閉館までにぜひお越しください。

## ホームタウンの産業を知り農家と交流

■藤枝MYFC選手による波乗りレモンの収穫体験

サッカーJ2リーグの藤枝MYFCが10月9日、市内農園(勝間田区)で「波乗りレモン」の収穫体験を行いました。

同クラブでは、新人選手研修としてホームタウン市町の産業や文化を学ぶ取り組みを実施しています。選手6人は、農家からレモンの説明を受けながら一個ずつ丁寧にレモンを収穫。その後、収穫したレモンや加工品の試食・試飲を行いました。

選手は、「波乗りレモンを広めていけるよう自分たちもサッカーを頑張りたい」と話しました。



「波乗りレモン」を収穫する藤枝MYFCの選手



サーフィン大会で利用した鹿児島県からの来訪者

## 定額タクシーを新たな公共交通として

■「静岡空港・道の駅定額タクシー」が運行開始

市は10月、地域公共交通計画の一環で「富士山静岡空港」や「道の駅『そらっと牧之原』」へのアクセス向上のため、定額タクシーの運行を開始しました。

これは、市内から空港または道の駅まで格安の定額料金で移動できるほか、空港と道の駅間の移動も可能となっています。

今回、全日本サーフィン選手権大会参加のために利用した人からは「空港から静波海岸まで交通費が掛かるため、安い料金でタクシーに乗れるのありがたい」と好評でした。(関連記事12㉮)